

1. 会社概要（基本情報）

会社名	M&G Investments Japan 株式会社		
所在地	住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目3番1号 東京虎ノ門グローバルスクエア13階	
	電話	03 4550-6843	
	H P アドレス	https://www.mandg.com/investments/institutional/ja-ip	
代表者	藤田 学		
金融商品取引業登録番号	関東財務局長（金商）第2942号		
登録年月日	2016/7/26		
協会会員番号	012-02765		
業務開始年月	2016/4/1		
資本金	8,100万円		
受付窓口	営業部		
電話	03 4550-6843		
E-mail アドレス	mandg.japan.distribution@mandg.com		

2. 運用の特色（投資哲学、運用スタイル等）

FTSE100指数の構成銘柄であるM&G plcは、資産運用部門を担うM&G Investments、英国大手生命保険会社ブルーデンシャル及びウェルスマネジメントのM&G Wealthから成るグローバル金融グループです。このアセットオーナーかつアセットマネージャーという組織体制は、機関投資家の皆様と同じ目線で時流に沿ったニーズや価値観を共有できるユニークな事業構造であると考えております。

M&G Investmentsの運用資産残高は2023年12月末時点で約60兆円であり、その約半分はグループ生命保険会社からの預かり資産が占めています。アクティブ運用戦略とプライベートアセットに特化し、投資戦略全般にわたって一貫した運用実績を有する点が特長です。またグループ生命保険会社の運用を担うことが、強固かつ安定した運用体制の維持につながっています。

保険会社の運用を長年手がけてきたため、特に保守的かつ堅実に、ボトムアップの銘柄選定に基づく運用を得意としております。具体的には、債券やクレジット戦略、そしてプライベートアセット全般に強みがあります。債券については、欧州最大級のクレジットリサーチチームを有し、リスク管理に対する深い専門性と実績を持つ当社の戦略は、長期投資を前提とする日本の機関投資家と親和性が高いと自負しています。

また、プライベートアセットにおけるプロダクト・ラインナップが豊富で、資産運用残高は2023年12月時点で約14兆円です。当社では基本的にグループ保険会社を含む顧客ニーズに合わせてインハウスで運用体制を築き上げてきました。1997年にグループ生命保険会社からの受託でプライベートアセットの運用を始め、現在では欧州を中心とした不動産、インフラ、プライベートクレジット、プライベートデットなど幅広い戦略を提供しています。



3. 投資に関する意思決定プロセス

主力のクレジット運用においては長期のファンダメンタルズを重視したバリュー運用アプローチを採用し、クレジットサイクルを通じて安定的な収益の獲得を目指しています。ボトムアップでの銘柄選択を基に保守的な運用を行っており、サイクルを通じて市場に常時存在する個別銘柄の価格の歪みを源泉としたクレジット・プレミアムをアルファの源泉としています。この投資アプローチを可能とするのは、欧州最大級で強固なクレジット・リサーチ能力と経験値です。

M&Gのクレジット・リサーチは、外部の信用格付機関に頼るのではなく、クレジットアナリストによる徹底的な分析を通じて独自の内部格付を付与します。豊富なリソース、クレジット市場に投資する能力により、様々な市場環境で安定した超過収益を実現します。またポートフォリオ構築においては、きめ細やかにポジションを取引し、高度な分散を常時心がけております。

プライベートアセット運用においては6つの運用チーム（不動産、プライベート・クレジット、ストラクチャード・クレジット、インパクト&プライベート・エクイティ、responsAbility（インパクト/新興国）、インフラ・エクイティ）を擁する強固な運用プラットフォームがあり、深い専門性を持つ650名を超える投資プロフェッショナルが在籍しております。長期にわたる運用経験とグループ生保との協業によるメリットを活かしながら、信頼できるパートナーとしてお客様のニーズに合わせたソリューションを提供いたします。

4. 運用体制

1.債券・クレジット

(1)人員：326名、(2)平均経験年数: 15年

長期のファンダメンタルズを重視したバリュースタイルの運用アプローチを採用。すべての投資銘柄はM&Gが独自の格付を付与。

2.プライベートクレジット

(1)人員：56名、(2)平均経験年数: 14年

様々な通貨で規模に応じた融資が可能。欧州最大級のリサーチ・チームが、独自のクレジット/ESGレーティングを付与。

3.実物不動産

(1)人員：301名、(2)平均経験年数: 7年（管理部門を除く155名の運用プロフェッショナルに基づく）

欧州・英国・アジアで最大のコア型オープンエンド戦略を運用。また、欧州・英国で居住用不動産ならびに不動産デット投資の代表的なマネジャー。ESGに注力 - 98%のアセットがGRESB 4以上の評価。

4.欧州証券化商品

(1)人員：36名、(2)平均経験年数: 13年

欧州最大級かつ最も経験豊富なチームの一つでIG/HYにわたる幅広いストラクチャード・クレジットの投資ユニバースをカバー。

5.インパクト投資

- ・上場グローバル株式 (1)人員：10名、(2)平均経験年数: 15年
- ・先進国PE・PD(Catalyst) (1)人員：9、(2)平均経験年数: 9年
- ・新興国PE・PD(responsAbility) (1)人員：57、(2)平均経験年数: 4年* (*主要スタッフのみの数値)

上記は2023年12月末時点の数値です。

5. 運用金額

- 1.債券・クレジット: 2,173億米ドル
- 2.プライベートクレジット: 265億米ドル
- 3.実物不動産: 397億米ドル
- 4.欧州証券化商品: 33億米ドル
- 5.インパクト投資
 - 上場株: 38億米ドル
 - 先進国PE・PD(Catalyst): 51億米ドル
 - 新興国PE・PD(responsAbility): 50億米ドル

6. 運用実績

	戦略	運用開始	リターン ⁽¹⁾	収益目標	超過収益 ⁽¹⁾	インフォメーション・レシオ/ シャープ・レシオ*	備考
1	社債： 欧州投資適格債戦略	2011年	2.60%	ICE BofA Euro Corporate Indexを 長期で上回る	1.02%	0.89 (過去10年)	EUR E Acc share classに基づき算出
2	プライベートクレジット： 欧州バンクローン戦略	2005年	3.91%	絶対収益型戦略	N/A	0.97* (過去10年)	EUR C Inc share classに基づき算出
3	実物不動産： 欧州コア不動産戦略	2006年	4.63%	インカム重視の絶対収益型 (参考BM：INREV ODCE)	0.65%	N/A	戦略全体のコストに基づき算出
4	欧州証券化商品： 欧州シニアABS戦略	2015年	2.58%	短期金利+1-2%	1.39%	0.46* (過去5年)	EUR 3 H Acc share classに基づき算出
5	インパクト投資： 欧州株式-パリ協定準拠戦略	2018年	9.09%	MSCI Euro Net Indexを 長期で上回る	1.73%	1.48 (過去5年)	EUR CI Acc share classに基づき算出
	インパクト投資： 新興国マイクロファイナンス戦略	2007年	4.73%	絶対収益型戦略	N/A	2.0* (過去5年)	I-II USD share classに基づき算出

注：(1) 2023年12月末まで過去10年間(運用期間10年以下は設定以来)、フィー控除前、年率換算、現地通貨建て。

7. アピールポイント

- ・グループ生命保険会社の運用を長年担ってきたことから長期投資家目線の保守的な運用が特徴です。アセットオーナーかつアセットマネージャーという組織体制は、機関投資家の皆様と同じ目線で時流に沿ったニーズや価値観を共有できるユニークな事業構造であると考えております。
- ・欧州クレジット・オルタナティブ投資におけるリーディングプレーヤーであり、また英国最大級の不動産運用マネージャーのひとつです。
- ・新ファンドを開発する際にシードマネーを提供する等、グループ生命保険会社との協業により、安定した運用体制の構築と幅広い商品ラインナップの提供が可能になります。
- ・運用以外でも、2025年に新たな資本規制が適用される本邦保険会社のお客様には欧州での規制対応のノウハウや知見もご紹介が可能です。グループに保険会社を持ち、保険会社の運用を熟知した当社グループだからこそできる取り組みだと考えます。
- ・当社（日本法人）は2016年に開設しており、本邦投資家からの受託金額は約8,000億円（2024年3月末時点、コミットメントベース）にまで成長しております。
- ・海外資産について米国への投資割合が高く、欧州への投資は進んでいない、というのが多くの機関投資家の皆様の現状だと理解しています。今後米国からの分散投資を検討される際に、「欧州といえばM&G」と想起いただけるよう、魅力的な運用戦略をお届けし、資産運用のお手伝いをさせていただく機会があれば光栄です。